

①個別データシート

整理番号:

JP212003

種類

サービス

英名

band processing of polypropylene

分類

プラスチック製品

和名

バンド加工,ポリプロピレン

・GHG排出量

4.46E-01 kg-CO2e/kg

・情報源分類

その他調査データ

・技術記述子

ポリプロピレンのバンド加工

・技術の内容と機能

バンド加工は、溶融樹脂を横方向に広いスリット状のダイスから押し出し、冷却（水またはロール）してシートを成形し、更に再加熱してシート表面に模様を付けるエンボス工程からなる。
押し出し（シート状）～冷却～加熱・縦延伸～エンボス加工～アニーリング～裁断～巻取り

・情報源

社団法人産業環境管理協会：“平成14年度製品等ライフサイクル環境影響評価技術開発成果報告書”、（2003）

・データ作成者コメント

バンド加工はPP が主であることから、大手PP バンド成形メーカー2 社に聴取し（平成12 年11 月）、その平均値を採用した。

・適用範囲

再生品も含めたポリプロピレン樹脂のバンド加工全般に適用

・システム境界

資源採取から対象物の加工までを範囲とする。製品の日本国内における輸送を含まない。包装材を含まない。輸送のための梱包材を含まない。排水処理を含まない。産廃処理を含まない。加工プロセスのため、加工される原材料ならびに加工された製品は含まない。

・配分

共製品はなく配分なし。

・GHG排出量の要因

主なGHG排出源は、電力、系統電力（消費電力）由来のCO2（化石資源由来）、である。

②入出力データ

区分	フロー区分	品目名	連鎖した品目名	公開整理番号	数値	単位	備考
ユーティリティ	中間フロー	入力消費電力	電力,公共	JP120001	9.20E-01	kWh	
製品	中間フロー	出力バンド加工,ポリプロピレン	バンド加工,ポリプロピレン	JP212003	1.00E+00	kg	加工プロセス